



ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第388号

## 「日帰り巡礼旅行」「訪日教皇ミサ」参加へ振り替え

11月24日、教皇様が長崎でミサをあげられます。このため11月23日に予定していましたが「日帰り巡礼旅行」を急遽「訪日教皇ミサ」への参加に振り替えることとなりました。

大まかな教皇様の訪日日程が決まりました。旅程は11月23日から26日までで、23日に東京入り。24日には広島、長崎を訪問され、核兵器廃絶に向けたメッセージを被災地から世界に向け発信する意向です。

長崎では、県営野球場(ビック N スタジオ)にて野外ミサが行われる予定で、目下様々な場面を想定して一人でも多くの方がミサに参加できるように考慮中です。

したがって11月23日に予定していた大村の「日帰り巡礼旅行」は取りやめることとなりました。強行すれば、体力的負担、経済的負担が大きくなるため、「日帰り巡礼旅行」は再来年以降となります。

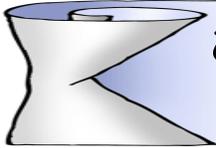
個人でのミサ参加、二人以上の「個人グループ」での参加なども「教皇訪日長崎実行委員会」事務局を通さねばならないため、9月30日までは、人数の確認が必要です。該当される方

は教会御堂の後ろに申込書を置いてあります。記入の上、申し出てください。

団体での参加も同様に、申し込む必要がありますので、9月30日までに申込用紙にご記入ください。



ことばが肉となって、	2面
信仰の原点	3面
委員会報告	4面
ペルーの報告	5面
教会学校より	6面
幼稚園から	7面
お知らせ・敬老お祝い会	8面



## ことばが肉となって、わたしたちの間に宿られた

谷口 尚志 神父

〈言葉〉というものは、たとえ一言であっても長いものであっても、また、ひとり言であったとしても「向けられる相手がいて発せられる」ものです（ひとり言は、実際には目の前に相手はいないのですが、自分も含め、いるものとして話しかけています）。このように、〈言葉〉は相手がいて繰り返されていくわけですが、感謝する気持ちや申しわけなさ、腹が立っているなどの何かしらの感情が加わっていきます。そして、表情があれば、その表情も伝わります。このように、その後続く結果に直接影響が出るのです。

先日、話題となった、ある男性が常磐自動車道においてあおり運転をし、相手の車を停車させた上で暴言や暴力を振るって逮捕された事件。この事件だけではありませんが、常々、このような事件を耳にすると、相互間でやり取りされた〈言葉〉によって良い結果、悪い結果へと分岐することを考えさせられます。ちょっとしたことに腹を立ててしまうこと、逆に、何気ないことであっても感謝する気持ちになることなどは誰にでもあるでしょう。しかし、結局、それは〈言葉〉に上乘せられ、さらに感情や表情が加わり、その後続く相手へ言動・行為に結び付く結果となるのです。逮捕された男性は精神的に病んでいたとか、そもそも真っ当な人間ではなかったなどと言い切ってしまうことは簡単ですが、わたしたちの口から出る〈言葉〉も向かっていく相手があり、その相手との関わりが良いものとして実るか、そうではない結果になるのかは〈言葉〉そのものにかかっているとと言えます。

ヨハネによる福音書の冒頭は「初めにことばがあった（1・1）」で始まり、「ことばは肉となって、わたしたちの間に宿られた（1・14）」と続きます。イエスさまが世に来られたのはわたしたちの間で〈言葉〉として宿られるためです。よって、既にわたしたちの口から出る〈言葉〉は神の意志によって神ご自身と人、人と人、人と自然との一致のために大いに役立たなくてはならないことが明白となっているのです。

来月末から待降節に入ります。まさに、ことばが人となって世に来られた事実を知っているわたしたちは、相手との関係性を良くし、神の意志を伝える者となるよう成長しなければなりません。ふさわしく待降節、その先の降誕祭を迎えるためにも、今一度、わたしたちの口から出る〈言葉〉を見直す日々を送っていく決意を新たにしましょう。

# 活水<sup>2</sup>

## 信仰の原点

折尾地区 馬込雅子

私の信仰の原点は…と問われたら、きっと母でしょう。

母を通してカトリックと出会いました。

私の母は、広島県出身です。1945年8月6日に原爆が投下された時は、両親と自宅にいて助かりました。当時、広島市内にいた母の二人の兄は、市内を歩いて帰ってきてその後、亡くなったそうです。海軍だったもう一人の兄も戦死しました。

「あの頃の自分達は、紙一重の命だった」と、話していました。

戦後、母は、家の近くにあったイエズス会の長束修道院に女学校の先生から、神父様への届け物を頼まれました。学校の帰りにイエズス会に行くと、対応に当たったラウレス神父様から「今度、修道院で若い人たちの集まりをするので、お友達と一緒に来ませんか」と声をかけられました。これに答えて、友人と一緒に参加したのがカトリックに導かれたきっかけだったそうです。

その後、母とその友人は洗礼を受けました。戦争によって家族や友人を亡くした体験もあり、人の生と死、人は死んだら何処に行くのか…等、考えたことが信仰を持つきっかけだったと聞いた事がありました。

洗礼の恵みを受けてミサに与り、神父様のお話、聖書のみ言葉に触れ、より深く命、信仰、希望、愛について考え、「この世には、人知を越えた目には見えない神の働きがある」のだと感じたそうです。

母はその後、結婚して大阪に住むことに成り、一緒に洗礼を受けた友人はシスターになりました。結婚する時に、私の父も洗礼を受けました。4人の子供にも洗礼を受けさせその配偶者も全員がカトリック信者でした。さらに母にとっては孫である子供たちも洗礼を受けましたので、母一人から始まった神さまとの出会いは、いつの間にか家族18人がカトリック信者となり、大きなお恵みをいただいたことに、母はとても感謝していました。

母は、優しく穏やかな人で、そしてよく祈っていました。私が中学生の時、教会に行かず離れた時も、母は何も言いませんでしたが、きっと祈っていたのでしょう

昨年の8月、母は86歳で天に召されました。母と関わりのあった多くの方々教会にお別れに来て下さいました。そのお一人から「あなたのお母さんは、どんな人にも優しくかったよ」といわれ、母の生き方、信仰の原点はここにあったんだなと思いました。

「どんな時も希望を持ち、神さまからの力と知恵と勇気をいただけるよう祈りなさい。大切なことは全て、神さまから来るのだから」

生前に母から言われた言葉は、今も時々「私の心の中で、光となって輝き響いています。

# 委員会等報告

2019年9月分

## 9月度小教区委員会 9月1日

### 1. 行事予定

- ・10月 6日(日) 李神父様 追悼ミサ  
(小倉教会) バス手配
- ・10月 13日(日) 小教区委員会
- ・10月 14日(月) 福者ディエゴ加賀山  
隼人殉教祭(小倉教会) 10:00~
- ・10月 18日(金) 役員会 19:00~
- ・10月 20日(日) 聖堂ワックス掛け
- ・10月 26日(土) 水巻聖母幼稚園バザー

### 2. 議題

#### (1) 各委員会報告

##### ① 広報委員会より

- ・8月にパソコンが故障。急遽交換機を購入。
- ・都合により次回編集日は、9/15(日)に変更。

##### ② 冠婚葬祭の会より

- ・結婚式の準備、段取り、連絡先確認を行う。

##### ③ 典礼委員会より

- ・葬儀用の典礼儀式書を改定し、印刷業者と打合せ中。
- ・200部を印刷予定。印刷費用は見積り受領予定。
- ・結婚式用の典礼儀式書も改訂。50部を印刷予定。

##### ④ 納骨堂委員会より

- ・お盆の対応、ありがとうございました
- ・開かない扉があったので、奉安室の鍵を一部交換した。

##### ⑤ 宣教委員会より

- ・レプトン会の報告を行います

##### ⑥ 営繕委員会より

- ・告解場の扉を付けた(正しくは別の場所から扉を移設)

#### (2) 敬老会準備について

- ・まかないから弁当に変更・27名参加予定
  - ・役員 13名分+お手伝いの方+広報委員 全55個の弁当を手配
  - (3) 巡礼旅行について
  - ・アンケートの結果、行先は大村に決まりました。詳細の検討はこれから。
  - (4) 福者ディエゴ加賀山隼人殉教祭
  - ・ポスターを掲示しています。
  - ・送迎は準備せず、小倉教会集合とする。
  - (5) 大人の日曜学校について
  - ・今回は未実施。行事が重複しているため。
  - (6) 営繕計画について(今後の営繕計画)
  - ・司祭館事務所の移設。実施予定
  - ・駐車場ブロック塀改修。近隣住民の了解次第、工事予定
  - ・パーキングブロック設置
  - ・キッチンフロア張り替え・聖堂天井灯
  - ・鐘楼傾き修正。工事は非常な困難が見通し
  - ・納骨堂換気扇更新。この工事は実施予定。納骨堂管理費から支出
  - (7) その他
  - 福岡教区のホームページについて
  - ・教会案内の情報提供、素材・技術提供(人物の推薦)、情報掲載・寄稿・取材のお願いがあった。
  - ・教皇フランシスコ訪日記念企画展の概要お知らせ。
- カトリック福岡司教区  
10月19日(土)~12月3日(火)  
於：大名町教会 1階講堂、控室

## ペルーの報告



水巻教会のレプトン会が支援している、ペルーのカリタス修道女会のシスターが来られて 9月8日ミサ後に、ペルーの現状についてプロジェクターで現地の様子を見ながらの報告会がありました。

最初に、シスターが所属する修道会についての説明があり、その後実際にシスター達が活動している内容の報告がありました。また、シスターから水巻教会にペルーからのプレゼントとして、最後の晚餐の置物、コーヒー、裏にドヨラのイグナチオの祈りが書いてある御絵をいただきました。

カリタス修道女会は、宮崎で1937年に宣教を始めて、今年で82年になります。その後、世界各国で活動を行い、ペルーでは1982年から宣教を始めました。ペルーには4つの修道院があり、病人訪問を行ったり、マリア・タキ保育園で子ども達のお世話をしたりしています。

マリア・タキ保育園には、管区本部から毎日バスと電車を乗り継いで約1時間かけて出勤しています。この保育園は貧しい地域に建てられ、周りの環境も悪く、緑もないので空気も汚染されていて、喘息に悩む子も多いです。水巻教会から毎年送られている貴重な援助金は、このマリア・タキ保育園の子ども達の中でも、午後の時間も家に帰ることができない子ども達の昼食を提供する費用として使わせていただいています。

他の修道会でも、幼稚園や小学校を運営したり、老人施設で働いたりしています。リマの隣の州にある日系人のための老人施設では、高齢化が進み、かつてのゲートボール場は羊の牧場になっています。リマから飛行機で1時間ほどのところにあるプカルパでは、地域の貧しい子ども達に食事を提供し、教育の補助を行い、宗教教育を施し、家庭の使徒職に力を注いでいます。この地域はアマゾン地帯に近く、1年中気候は夏です。川の上に生活している人々や1年中のほとんどが泥水に浸かった家での生活を余儀なくされている人々がいます。シスターたちは川向うから毎日船で学校に通ってくる子ども達に食事を提供したり、授業が終わった後の補習をしたりしています。この地域は特にシングルマザーが多く、食べていくのがやっとで、とても苦しい生活をしていますが、人々はいたってのんびりで、明日のことは心配せず、その日、温かい祈りとご支援は、働きに出ている両親、あるいはシングルマザーの生活を支え、子ども達の心身の健康と成長を大きく助けています。皆様方のご支援によって、子ども達への昼食サービスを続けることができます。心から感謝するとともに、今後とも、温かく見守り、助けてくださいますようお願いし、子ども達からの「ありがとう」を伝えます。

カリタス修道女会 リマの聖女ローザ準管区 シスターマリー中村



# 教会学校のページ



8月25日、谷口神父様の呼びかけで、ファミリーキャンプ、平和の集いの慰労会を兼ねた親睦会がありました。メインディッシュは、神父様監修による手作り餃子です(^)

子供も、大人も餃子のタネを皮で包む作業に必死！なんと300個?!の餃子を作りました。この日は高校生1人を含む青年5人も参加して、久々の再会を慣れ親しんだ教会で果たすことが出来ました。様々な世代で話の花が咲き、正に親睦の夕べとなりました。

こどもたちはこの日は、司祭館でお泊りも体験。また一つ逞しさが増した夏休みでした。





## 水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 10月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

### <水巻聖母幼稚園>

9月13日(金)は親子避難訓練が行われました。非常事態(地震・台風・天候急変・事件等)の際に園児を引き渡す訓練を実施し、今回は《震度5弱の地震》を想定して訓練を行いました。水巻町役場子育て支援課の課長様が視察にいられました。園児の命を守るためにこのような取り組みをしています。

#### 【大運動会】

10月5日(土) 園児入場 8:30  
未就園児のお友達、お待ちしております。

#### 【聖母バザー】

10月19日(土) 10:30~13:30



水巻聖母幼稚園 TEL: 093 201 9559

e-mail: [contactus@mizumakiseibo.ed.jp](mailto:contactus@mizumakiseibo.ed.jp)

### <マリア子どもの家>

9月になり新学期が始まると、満3歳になり幼稚園に移行する子どもがいました。保育園在園期間中の簡単なアルバムをプレゼントして、お別れを言いました。ここより広い世界で、新しい出会いを大切に、元気で楽しんで下さいね。



今年は、8月半ば頃から台風などで雨天の日が多く、幼稚園のホールでサクランボリズムやボール遊びをたくさんしました。お蔭で、とても上手になりました。

給食室からの、久しぶりの玉葱むきのお願いが来ました。いつも美味しい給食を有難うございます! みんな、お手伝いが大好きです。

TEL: 050 5212 7759

HP: 水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 シスター松川明子

職員 一同

# 10月のおしらせ

## ★10月はロザリオの月★

10月はロザリオの月です。ミサの前、午前9時からロザリオを一連、唱えます。皆さんの参加をお願いします。

## ★イ神父様の追悼ミサ★

日 時：10月6日(日) 午後3時～

場 所：カトリック小倉教会

なお、水巻教会では、主日のミサの中でイ神父様を偲ぶ意向のミサを捧げます。

## ★教会聖堂のワックス掛け★

日 時：10月20日(日) ミサ後

場 所：水巻教会 聖堂・信徒会館

作業しやすい服装でおいでください。

## ★ホームレス支援より★

冬の衣類(冬期用ブルゾン・コート・ズボン)がありましたら、教会にお持ちください。女性用もありましたら、お願いします。10月より受け付けます。

人-ひと

## 【結婚】おめでとう！

9月22日

ルドビコ 山口 高志さん (海老津地区)

田中 佐代子さん

お二人のために、お祈りください。



## 敬老のお祝い会



9月15日ミサ後、信徒会館で、「敬老のお祝い会」が行われました。対象となる75歳以上の方は100名以上おられますが、この日の参加者は27名。

最初に、聖母幼稚園の子ども達が用意した「メッセージ板」の贈呈が行われ、代表として田中税さんがこれを受け取りました。食事にはお弁当のほか、前日に谷口神父様と教会学校のリーダーと子ども達が用意したスープがふるまわれました。幼稚園からどら焼きの差し入れ、芦屋地区の浅田さんより飲み物の差し入れがあり、楽しいひと時を過ごしました。



「からしだね」の由来となった聖書の箇所

マタイ 13章 31 節、マルコ 4章 30 節、ルカ 13章 18 節